



特定非営利活動法人
富山県防災士会 会報
 (NPO法人日本防災士会・富山県支部)

第39号

令和6年7月1日
 発行 富山県防災士会
 連絡先 090-3760-3702
 (事務局長:上田)

令和6年 通常総会開催

日時：令和6年5月18日（土）13:30～15:30
 場所：婦中ふれあい館 大研修室
 会員数386名、会場出席者90名、書面評決162名、
 委任状60名の合計312名によって総会は成立した。



【議案】

- 令和5年度事業報告
 - 令和5年度決算報告
 - 令和6年度事業計画（案）
 - 令和6年度会計収支予算（案）
 - 富山県防災士会 監事の解任および選任
- ★全ての議案は、賛成多数で承認された。

また、理事長から、特定非営利活動法人（NPO法人）日本防災士会（以下、日本防災士会）は、支部としての諸条件（支部活動の手引き記載）を満たさない場合は、日本防災士会の支部としては認めないとの厳格運用を進めていることについて、以下のとおりの説明があった。

日本防災士会は、このことについて日本防災士会支部長会議（3月2日）にて、本年4月以降、「定款」、「会員規程」、「支部活動の手引き」の見直しを複数年にわたり順次進めることであることから、この経緯や結果を注視し、本会の今後の在り方を決定するとの報告があった。



ほかに、理事長からは今後の事務の効率的な運用や、社会的な信頼性の保持のために、本会の事務所の固定化について検討していることの報告があった。

令和6年 能登半島地震の復興支援に向けて

【ボランティア活動】

期間：令和6年2月20日～27日
 場所：能登町災害ボランティアセンター
 参加者：22名

【ボランティア活動に参加して】

1泊2日でボランティアに参加する。初日は、松波の宿泊場所に向けての移動となる。のと里山海道にはびっくり。道路に段差あり、反対車線は崩落、迂回路は道路を一旦降りてまた戻る。1月の氷見市のときとは別次元である。能登町のボランティアは、災害ゴミの搬出が主な仕事であった。3件の家を担当したが、どの家の人も片付け後にはすっきりした表情になっていた。これで新たな一歩が踏み出せるのだと感じた。仲間たちに感謝。災害復旧支援ボランティア活動を一緒に行った仲間たちとは、今も格別の間柄である。



（富山県防災士会 江尻 泰将 記）

隣県の甚大な被害をこの目で見ておきたいと思い、初めて災害ボランティアに参加しました。目に映る光景は報道そのもの。道路の損傷が酷く、雪が降る時期だったため、何もかも不安でした。能登町では、ボランティアセンターすぐそばのお宅で、膨大な量の分別と運び出しを行いました。

その後、珠洲市、輪島市の輪島地区、町野地区、門前地区、穴水町、七尾市、金沢市の1.5次避難所などへも行きました。輪島市の朝市通りは、言葉にならない光景でした。輪島では、仮設住宅入居準備も経験しました。珠洲市では、甚大な津波被害のお宅の片付けを経験し、津波の恐ろしさを実感しました。

5月に再度能登町に入りましたが、公費解体が全く進んでおらず、目に映る街並みに大きな変化は見られませんでした。復興とは程遠い状況ですが、奥能登に住み続けたいと願う被災者を想い、ボランティア活動を継続してまいります。



（富山県防災士会 勢堂 由華 記）

会員
自己紹介

防災士 田畠 力也（朝日町）



2008年2月に

県東部に発生した「寄り回り波」。朝日町では、宮崎漁港や海岸沿岸部の漁具倉庫などに多くの被害をもたらしました。町民や建設業団体に呼びかけ、本当に多くの方々の協力をいただき、破損した漁具倉庫などのがれきの撤去が1日余りで終了しました。この時の朝日町民の災害に立ち向かう姿が目に焼き付いて忘れることはありません。

現在は、朝日町災害ボランティアセンターの運営方法の見直しや町民の災害時におけるボランティア活動について学びを深める研修会を開催し、地域住民の災害への取り組みを進めています。仕事の範囲内ではありますが、地域防災のお役に立てるよう活動していきたいと考えています。

令和5年度実施 学校安全アドバイザー報告

学校安全アドバイザー派遣事業は、富山県教育委員会から本会へ防災に関する専門家の派遣を求められ、学校側の防災分野の先生方と協議を進めながら訓練の計画や実施までの策定や見直しに関する支援を行うものです。

生徒・児童自身には、この訓練を通じて「自分の命は自分で守る」という能力や態度の育成を目指すものです。

【派遣先と担当理事】

高岡市立牧野中学校	吉澤 実
黒部市立明峰中学校	西島幸紀
滑川市立田中小学校	八木里見
南砺市立吉江中学校	野原光昭
富山県立小杉高等学校	江尻泰将
富山県立志貴野高等学校	向井浩貴・五箇寿夫
富山県立ふるさと支援学校	割山拓身

私が担当した富山県立ふるさと支援学校では、地震から火災発生、初期消火と避難完了までを訓練想定として、8月に机上検討会、9月1日訓練を実施した。

- ・地震の対処に関しては、皆さん机の下にもぐり身を守る姿勢は完璧であった。
- ・火災発見から応援部隊の駆けつけまでは迅速であり、良好であったが、初期消火活動は火元への的が絞り切れておらず、目頃からの訓練を要望した。
- ・避難では、火災想定にも関わらず「口にハンカチを当てて避難する姿」が50名中1名という状況。火災の避難では煙を吸わないための行動が大切であり、訓練後の講評で強く指導した。 (割山 拓身 記)

令和6年度 各地の総合防災訓練

主催地	開催日	開催場所
富山県	9月29日	黒部市、入善町、朝日町
朝日町	9月29日	県総合防災訓練 さみさと小
入善町	7月28日	入善町10地区
黒部市	9月29日	県総合防災訓練 総合公園
魚津市	9月29日	本江地区 本江コミュニティセンター
滑川市	10月27日	中加積地区
富山市	9月29日	未定
上市町	未定	宮川地区
立山町	9月7日	立山町役場
舟橋村	未定	未定
高岡市	8月25日	博労小、木津小、南条小
氷見市	9月8日	未定
射水市	9月29日	南太閤山地区
砺波市	9月29日	梅檀野・梅檀山・般若地区
南砺市	10月6日	未定
小矢部市	9月22日	石動小グランド・体育館

※上記は、6月中旬までの集約情報です。

入善町の活動紹介



避難所開設手順を具体的にどのように行うのかのゲームを新たに入善町で作り、各地区のコミュニティセンターの建屋図を用いて、入善10地区の自主防災会と防災士で研修会を開催した。参加者は、地元の避難所の作り込みのため、真剣に取り組んでいた。

(谷口 幸男 記)

能登半島地震への募金



通常総会会場受付に、能登半島地震の募金箱が設けられた。総会に出席された会員から温かい募金を頂戴し、19,000円に達しました。この集まった金額は、日本防災士会に送金しました。

～会員自己紹介 募集～

今までの会員自己紹介は、富山県防災士会の理事を中心として紹介していました。今後、富山県防災士会の会員の自己紹介を考えています。

自己紹介をしたいと思われる方は、QRコードからお願いします！

